



候補者からの公費請求に チェック強化を

吉川 三津子 議員

チェック機能を果たし
適正に執行する

総務部長

先進自治体の選挙公営費の上限額 & 愛西市議選の公営費の請求実績

●選挙公営費の上限額(自治体条例比較)

①選挙カー借入れ上限額(1日)

みよし市	10,533円
豊明市	13,770円
日進市	15,800円
愛西市	15,800円

最近の選挙で、候補者が請求したポスター単価の平均金額
愛西市は高い

②ポスター制作費上限額(1枚)

豊明市	1,629円	1,361円
日進市	1,829円	1,029円
愛西市	2,990円	2,094円

●今年の愛西市議選での公費請求実績

①選挙カー借入れ

上限額で請求した候補者	7名
-------------	----

(内3名は修正返納)

②ポスター制作費

上限額で請求(2,990円)	1名
上限額の9割(2,691円)以上	10名
上限額の3割～9割	11名
上限額の3割(897円)以下	1名

③選挙公営費の請求総額

請求最高額	828,240円
請求最低額	214,309円

条例の上限額

選挙には、選挙カー借り上げ、燃料代、選挙ポスター制作費、選挙葉書郵送代の上限額をそれぞれ条例で定め、税金から負担される制度がある。

4月の市議選では、対象外の看板代等を選挙カー借上額に含めて条例の上限額で請求したことが問題になった。2014年にも7名が内容は不明だが、上限額で請求しており、条例の改正や内

訳書の提出を提案してきたので残念だ。

候補者からの書類のチェックはどのようにしていたのか。課題は。

総務部長 不備や記入漏れを職員が確認している。

市として、候補者説明会で資料を渡し、詳細な説明をしているが、理解されていない候補者もあったことが原因だ。

先の市議選の公費負担額は。また、候補者別負

担額の公開はしているか。

総務部長 車の借り上げは、レンタル形式の条例上限額11万6000円を請求した候補者が6名で、内3名が訂正し差額返還した。ハイヤー形式が1候補者あり、上限額の45万15000円の請求があった。

燃料は、最高額1万7025円、最低額7517円の請求があった。運転手は、条例上限額の8

万7500円で請求した候補者は14名で、最低額は7万円だった。

ポスターは、条例上限額の37万6740円の請求者は1名で、最低額は8万2404円だった。

この結果、公費負担請求総額の最高額は、82万8240円で、これらの公表は現在していない。

同じ選挙でありながら最高額82万8240円と、一方21万4309円の最低額の請求がある。

先進自治体では、チェックリストや発注明細の提出、上限額の改正、候補者名ごとの公費負担等の公表に取り組んでいる。市の考えは。

総務部長 十分なチェック機能を果たし、公費負担の適正な執行に努め、必要があれば条例改正も考える。

公表についても、先進自治体を参考にし、公表できるように勉強する。